

令和7年度 入園のご案内
げんきいっぱい
にこにこ
あそぼう！



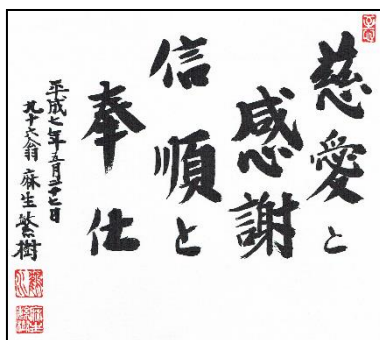
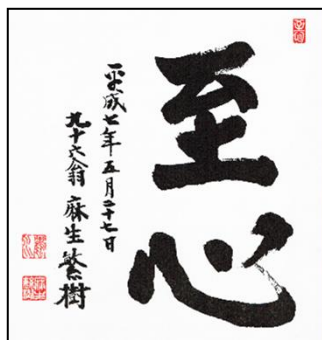
学校法人 麻生学園



日佐幼稚園



本学園 建学の精神



麻生学園創立者、初代理事長、初代学長、教育学博士 麻生 繁樹 書
「至心」とはまごころのことです。

すべての物（人）に慈悲、慈愛の心をもって接するという教え
職員一同、建学の精神を受け継ぎ、誠心誠意、お子様の教育に努めております。



「育ての心」序より(倉橋 惣三選集より)

自ら育つものを育てせようとする心。それが育ての心である。
世にこんな楽しい心があろうか。それは明るい世界である。温かい世界である。育つものと育てるものとが、互いの結びつきに於て相楽しんでいる心である。

育ての心。そこには何の強要もない。無理もない。育つものの偉きな力を信頼し、敬重して、その発展の途に導うて(したごうて)発達を遂げしめようとする。役目でもなく、義務でもなく、誰の心にも動く真情である。

しかも、この真情が最も深く動くのは親である。次いで幼き子等の教育者である。そこには抱く我が子の成育がある。日々に相触る子等の生活がある。

斯うも自ら育とうとするものを前にして、育てずしてはいられなくなる心、それが親と教育者の最も貴い育ての心である。

それにしても、育ての心は相手を育てるばかりではない。それによって自分も育てられてゆくのである。我が子を育てて自ら育つ親、子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。

育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である。

「育ての心」より～小さき太陽

よろこびの人は、子どものための小さき太陽である。明るさを^{ひかり}傾かし、温かみを伝え、生命を力づけ、生長を育てる。見よ、その傍らに立つ子どもらの、^き熾々として輝き映ゆるを。なごやかなる生の幸福感を受け充溢れているを。〈中略〉^{こいねが}希わくは、子どもらの為に小さき太陽たらんことを。

この文章の中の小さき太陽とは、保育者のことです。『子どもらにとっての希望となるような、太陽のような存在であってほしい』という願いが込められています。

私たち職員は、いつも誰にでも平等に照らしてくれるお日様のように、惜しみない愛情を子どもたちに注ぎ生きる力の根っこを育て見守る存在でありたいと思っています。

育ての心を持ち、一緒に相楽しみましょう。

※倉橋 惣三・・・1882～1955 日本の幼稚園保育の指導的立場で活動し続け
日本のフレーベルと言われた「日本幼稚園協会」の創設者



本園の教育目標

麻生学園は子ども達の“根っこ”を育てる教育を行っています。子ども達の生きる力がしっかりと身についていくように、家庭・社会・幼稚園が協力し合い、連携をとりながら一人一人の育ちをサポートします。

- 土の中で小さな根っこは大きく根を張り（幼児期）
- やがて芽を出し大きな幹となり（児童期）
- 枝葉を広げ咲かせ（青少年期）
- やがては立派な実をみのらせる（社会人）

望ましい人間形成

幼児教育はしっかりと根っこを育てます

①基本的生活習慣を身につける

- 物を大切にする
- 約束や決まりを守る
- 人に親切にする
- 挨拶をする
- あとかたづけ
- 衣服の着脱

- 責任感
- 自主性
- 自省心
- 協調性

②情緒の安定

- 子どもらしさ
- やさしさ
- 同情心
- がまん強さ
- 気力
- 明るさ
- 落ち着き
- 素直さ
- いとおしさ

- 情 操
- 愛 情
- 慈 愛

③道徳性の芽生え

- 助け合う
- 公共物を大切にする
- 譲り合う
- 自分の物と人の物との区別
- 人に親切にする
- 感謝する

- 自主性
- 責任感
- 根気強さ
- 自省心
- 向上心
- 公正さ
- 指導性
- 協調性
- 同情心
- 公共心
- 積極性
- 自立心

④知的発達の芽生え

- 意欲、意志
- 知識
- やる気（根気強さ）
- 驚き
- 見たり、聞いたり、試したり、扱ったり

- 積極性
- 創造力
- 工夫力
- 記憶力
- 行動力
- 向上心
- 指導性
- 自立心

⑤土づくり（家庭・社会・幼稚園）

- しっかりと根っこが大きく育つよう、家庭と稚園が手を取り合って協力し合いましょう。



日佐幼稚園の概要



日佐幼稚園は麻生学園の2番目の幼稚園として昭和44年に創立し、本年度は開園から56年目を迎えました。開園当時はのんびりとした田園風景の中豊かな自然環境に恵まれておりました。

以来、園周辺は住宅街へと発展し、地域の皆様に温かく見守られながら歩んでまいりました。

歴史を刻んだ趣のある園舎も、平成24年には全面改築を行い、建物全体に耐震対策が施され安全面が強化されると共に、木の香りがする明るい園舎に生まれ変わりました。これまでに、2,100名余の園児が巣立ち、父親として母親として、立派な社会人として活躍しておられます。日佐幼稚園を卒園された方が保護者として2代に渡り在籍されていることは大変嬉しいことであり、この上ない喜びでもあります。



- 1、本園は学校教育法第1条に基づくものであり、幼・小・中・高・大学と系統教育の一環をなす幼稚園(学校)であります。
- 2、本園は幼児の心身の調和的な発達の特性を培い、個性の芽生えを助長し、豊かな感性と慈愛の精神を養い、心と体の健全な発達に重点を置く幼児教育の実践の場であります。
- 3、幼児の心身の発達とその特性に応じた生活を展開するに必要な施設・設備も整い、閑静で環境にも恵まれた幼稚園であります。
- 4、「教育は人なり」と言われるように本園はすぐれた教諭により、常に絶えざる研究と実践が行われ、愛と感謝の教育理念に基づいた教育を行っています。
- 5、本園の教育課程は幼児の心身の調和的な発達の実情を考慮すると共に、家庭及び地域の実態や特質を加味したものであり、指導方法としては年齢別、クラス割の指導を主としていますが、時には異年齢クラス編成による縦割保育も行っています。
- 6、本園は2年、3年、4年間を通した教育計画に基づき、年長(青組)・年中(赤組)・年少(桃組)・満3歳児(たんぽぽ組)を主体とした教育を行っています。
- 7、休園日は、土曜・日曜・祝祭日(園行事を行う月もあります。)その他夏・冬・春期の休み及び園で定めた日となっています。毎月第2、4水曜日は午前保育(11:30降園)です。
- 8、本園は、教育実習生を受け入れており、学生と園児の活気ある触れ合いの教育実習の現場でもあります。
- 9、私立の進学校として「麻生学園小学校」があります。麻生学園小学校は、学校法人麻生学園及び麻生文教学園の麻生グループの小学校です。受験をご希望の方は、園長推薦ができますのでお申し出ください。

幼稚園はどんなところ？

幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。

学校教育のスタートは幼稚園から

- 「学校」というと小学校からと思いませんか。幼稚園も学校教育法に基づく「学校」です。
3歳から小学校入学前までの子どもは、全国どこでも共通の教育課程に基づく教育が受けられます。
- 学校教育法第1条（文部科学省）
「この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。」と、学校教育法・第1条に規定されています。
幼稚園は、学校教育法に基づく幼児教育を行う学校です。従って、管轄は文部科学省です。

「遊び」は重要な学習です

- 幼稚園は、遊びを大切にしている教育を行っています。
この時期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。
- このため、幼稚園では、小学校以降の教育と異なり、教科書を使わず、「遊び」中心の活動を行っています。これらの「遊び」は、「国語」や「算数」などと同じように子どもの将来にとって重要な学習なのです。

小学校以降の学習の基盤は幼稚園で作られます

- 幼稚園の「遊び」と小学校の「国語」や「算数」などは、一見何のつながりもないように見えるかもしれませんが、子どもは、幼稚園で様々な遊びを通して、うまく人とかわるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。

幼稚園の目的

◎学校教育法第二十二條

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

幼稚園教育の目標

◎学校教育法第二十三條

幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとします。

1. 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
2. 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
3. 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
4. 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
5. 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

小学校の「スタートカリキュラム」につなげて幼児期の教育は、教科を中心とする小学校以上の教育と違って、遊びを中心とした生活を通じて、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことが基本です。

さまざまな体験を積み重ねるなかで、お互いを関連させながら、徐々に育むこととしています。

そこで、5領域を維持しつつも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、以下の事項を示しています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化(整理イメージ)

健康な
心と体

自立心

協同性

道徳性・
規範意識の
芽生え

社会生活
との関わり

思考力の
芽生え

自然との関わり
・生命尊重

数量・図形、
文字等への
関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな感性
と表現

幼稚園教育要領（5領域）

5領域は、子どもの発達を「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」という5つの側面から捉えたものです。

1. 健康・・・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
2. 人間関係・・・他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う。
3. 環境・・・周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
4. 言葉・・・経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
5. 表現・・・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。



日佐幼稚園の目指す幼児像



知性（知）・感情（情）・意志（意）のバランスのとれた心身共に健やかで、
明るくのびのびとした子どもを育てます。

知

知性を伸ばす

創造力・想像力
判断力・思考力

色々な事柄に興味を
示し、考え、工夫し、
試し、のびのびと
表現する。

情

情操を養う

感謝と慈愛の心
うるおいのある心
美しい心
豊かな情操（夢）

美しい心、優しい心を持
ち、友達と仲良く協力し合
う。
常に感謝の気持ちを持ち
素直に心から「ありがとう

意

意志を身につける

がんばる力（根気）
生き生きと行動する力
健康でたくましい力

心身共に健全で強い意
志を持ち、明るくのびの
びと行動する。
最後までやり抜こうと
する力を身につける。



すなあそび
だいすき！

どろだんご
できたよ



☆ 遊びは学び 遊びは生きるエネルギー ☆

～ こんな子どもに育てたい ～

どろんこ遊びや砂遊び 遊びは何でも大好きで
友だちたくさんいて 虫や動物や花が好き
時々けんかやちょっぴりいたずらをして
おかしいときには 大笑い
悲しい紙芝居や童話には涙ぐみ
叱られると しゅんとなり
ほめられると 有頂天になってよろこぶ
返事 挨拶のしつけ けじめだけはしっかりしていて
眼はキラキラ輝いている
こんな子どもらしい子どもに育てたい

遊ぶ

転ぶ

気づく

学ぶ



年間教育目標とねらい



1 学期

適応の時期

2 学期

発展の時期

3 学期

充実の時期



★満3歳児の年間目標

- 新しい環境に親しみ、年上の友達や保育者に見守られている安心感を持ち好きな遊びを楽しむ。
- 基本的な生活習慣を身につけ、のびのびとした園生活を送る。

★3歳児の年間目標

- 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でしようとする。
- 基本的な生活習慣が身につき、自信を持ってのびのびと行動する。
- 進んで異年齢の友達と関わり、信頼感や愛情を持って活動に取り組む。

★4歳児の年間目標

- 異年齢の友達と刺激を受け合い、思いやりや協調性を持って相手の気持ちを受容する。
- いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友だちとの関わりを広げる。
- 身近な環境に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりする。

★5歳児の年間目標

- 主体的に活動に取り組み、友だちを認め合ってグループ遊びが進められるようになる。
- 年長としての役割を自覚し、意欲的に活動する中で年下の友だちとのかわりを深め思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
- 自然や身近な事象に興味・関心を持ち、好奇心や探究心を高めていく。
- 就学に向けて目標を持ち、自覚と自信を持って行動する。

☆お子様の発達、療育等に関してのご相談がある場合は、必ず入園前にご相談ください。



日佐幼稚園の充実した環境



子ども達にとって素晴らしい施設・環境の中で安心・安全に過ごすことができ、笑顔溢れる園生活が送れます。



・園庭

のびのび駆け回る元気な子ども達の声が響きます。



・スクールバス送迎

安全運転の送迎バスです。複数の先生が、乗降の確認をします。



・冷暖房システム

各保育室に冷暖房を導入し、心地よい環境の中で過ごせます。



・フローリングの室内

木のぬくもりを感じる、開放的な明るい園舎です。

◎『コミュなび』について

『コミュなび』アプリをインストールしていただくと、お手持ちのスマートフォンやパソコンで次のように連絡ができます。

- 出欠申請なび・・・欠席、遅刻、早退、預かり保育の申請ができます。
- ぎゅっとなび・・・行事予定、園のたよりが確認できます。
- 連絡なび・・・緊急のお知らせ、予定変更のお知らせが届きます。
- バスなび・・・通園バスの運行状況確認、当日乗車しない場合の変更申請ができます。

◎ホームページ

- ・子どもたちの園での活動の様子などをご覧ください。
 - ・携帯電話より閲覧できるQRコードを活用しています。
- <http://www.ki.aso.ac.jp/osa/m/index.html>





色ある保育内容



のびのび遊び・学び合う保育活動

・・・育ちの心をサポートします・・・



異年齢の子ども同士の交流を通して思いやりの心や、いたわりの心を育てます。年上の子は小さい子のお世話をしたり、遊びを教えたりして、リーダー性を発揮するようになり、年下の子は、感謝の心を持ち、次世代の子ども達へ引き継いでいくようになります。



園庭での固定遊具、移動遊具や砂場で毎日元気いっぱい遊びます。遊びを通して丈夫な身体を作り積極性、社会性を育てます。



いろいろな行事を体験することにより意欲を持って活動し、やりとげた喜びが自信へとつながります。又、夢の世界が豊かに育ちます。

日々の生活を通して「おはようございます。」「ありがとうございます。」等の挨拶を進んでする、身の回りのことは自分でする等の、基本的生活習慣を身につけます。

6月の初めに柳瀬にある畑に年長、年中の子たちが芋の苗を植えに行きます。秋になったら全園児が、芋掘り遠足に行きます。収穫の喜びを味わい、どんな風に芋ができているのか観察しながら芋掘りを楽しめます。





○体育教室（毎週木曜日）

- ・1年を通じて、Flyスポーツクラブの幼児体育専任講師による体育指導を実施しています。マット、跳び箱、鉄棒、ボール運動、縄跳びなど、身体全身を使った運動を通じて体力づくりをしています。

○英語教室（毎週金曜日）

- ・外国人講師と日本人講師のチームティーチングで、歌をうたったり、体を動かしたりしながら英会話を楽しめます。（月謝 1,000 円）



○誕生会

- ・毎月誕生会を行います。全園児で誕生児一人ひとりをお祝いして、先生達によるミニシアターを観て、楽しく過ごします。

○園内観劇会

- ・プロの劇団の方を呼んで劇を上演しています。間近で生の舞台を観ることができ、お話の世界に入り込み、感動を味わい豊かな感性が育ちます。



○麻生フェスティバル

- ・麻生学園グループの幼稚園 10 園の園児及び教職員が一同に会し、福岡市民会館にて楽しい麻生フェスティバルを毎年開催しています。

◎保育時間外の活動（希望者のみ 有料）

○スポーツクラブ（毎週火曜日）

- ・スポーツクラブ『Fly』の先生による体育教室です。基礎体力、基本的運動能力の向上を図ります。





楽しい昼食



◎給食（月・火・木・金曜日）

温かいご飯がおひつに入ってきます。

カレーライス・シチュー・スパゲッティ・パンの日もあります。野菜や魚なども豊富で、カロリー計算された栄養のバランスがとれた給食です。



◎ご家庭からのお弁当（水曜日）

お家の方の作った愛情たっぷりのお弁当は、子ども達の心に欠かせない大切な栄養源です。



☆アレルギー除去食もあります☆

※アレルギー体質のお子様については、除去食の対応もありますのでご相談ください。

※給食では、みんなと同じものを食べる楽しさを味わったり、嫌いな物でも

「みんなが食べているから食べてみよう」と挑戦したりする姿も多く見られます。

先生や友だちの励ましには魔法の力が込められているのかもしれません。

苦手なものを克服した子ども達は、様々な場面で次への課題に挑戦していく新たな力を身につけます。



安全・安心対策



◎安全対策

- ・不審者防止の為、電気施錠・モニター付インターホンで訪問者を確認しています。
- ・3台の防犯カメラを園舎の内外に設置し、日々子ども達の安全を図っています
- ・毎月、不審者・防災の訓練を実施し、子ども達自身の安全意識の自覚を促します。
- ・通園バスには、ドライブレコーダー及び置き去り防止装置を完備しています。

◎24 時間こども総合保険・保護者サポート保険

損保ジャパン 24 時間傷害・賠償保険に全園児加入していただきます。

幼稚園内はもちろんの事、幼稚園外の事故も補償されます。

又、行事参加時の保護者の障害補償をします。



◎登降園確認の打刻

毎日個人持ちのキーホルダーで打刻して、お子様が登降園したかを確認できます。



子育て支援・保護者サポート



◎なかよし広場（預かり保育）

★お仕事やその他のご用事で利用希望の方を対象に、幼稚園の保育終了後、預かり保育を実施しております。

- ・曜 日 ……月曜日～金曜日
- ・時 間 ……保育終了後～午後6時
（休み期間中は、午前8時30分～午後6時）

★預かり保育を利用される幼児教育無償化2号・3号認定の方には、利用実態に応じて月額上限11,300円の給付が受けられます。



◎ひよこ広場（未就園児親子教室）

★幼稚園入園予定の1～3歳のお子様を対象とした教室です。

- ・5月～2月（8月除く）まで、月3回程度行っています。
- ・運動遊びをしたり、お話を聞いたり、制作遊びをしたりして親子で楽しく遊びます。
- ・遊ぶ友だちがいない、遊び場がない等でお悩みの方や、来年幼稚園の入園予定の方には最適の教室です。
- ・原則として翌年日佐幼稚園にご入園希望の方を対象としています。



◎保護者サポーター制度

- ・日佐幼稚園では、PTA、母の会、父母の会等の活動は行っておりません。子ども達が楽しく行事や日々の活動が送れるように、保護者の皆様で『出来る人が、出来る時に、出来る事』のサポートをお願いしています。
- ・保護者協力会費をいただき、行事のおみやげなどでお子様に還元させていただきます。





ようちえんでの 1日の過ごし方

登園 徒歩・・・8:30 ～ 9:00
バス・・・8:20 ～ 9:00

- ・出席ブックにシールを貼ります。
- ・持ち物の片付けをします。
- ・体操服へ着替えます。



昼食 11:30 ～ 12:30 頃

- ・栄養バランスの取れた給食、愛情たっぷりの家庭弁当（水曜日）をいただきます。



自由遊び 9:00 ～ 9:50

- ・砂遊び、かけっこ、遊具を使って外遊びをします。
- ・ブロックやままごとの室内遊びをします。



午後の活動 13:00～13:45 頃

- ・遊び、学び合う保育活動
外遊びや室内遊び、みんなでゲームなどをして遊びます。



朝の会 10:00

- ・朝の挨拶、お名前呼び
- ・歌をうたったり、リトミックや手遊びをしたり、絵本を見ます。



主活動 10:20

- ・お絵かき、折り紙、楽器遊び、運動遊びなど、年齢に応じたカリキュラムをもとに保育を行います。



帰りの用意・帰りの会

13:50～

- ・制服へ着替えます。
- ・持ち帰る物の用意をします。
- ・先生のお話を聞いたり、歌をうたったり、紙芝居や絵本を見ます。



降園準備 14:00 ～

- ・バス通園と徒歩通園の方法があります。
- ・ご挨拶をして、保護者の方と一緒に帰ります。



※月2回、第2・第4水曜日は午前保育（11:30 降園）となります。

日佐幼稚園の楽しい行事

4月	★入園進級式 	10月	★大運動会 ・いもほり遠足 
5月	★歓迎遠足 ・交通安全教室 	11月	・七五三参り ・職場訪問 ★麻生フェスティバル 
6月	・歯科検診(年中・年長) ★ファミリーデー ★個人懇談 ・プール開き 	12月	・クリスマス会 ★音楽発表会 ・2学期終業式 ・冬休み 
7月	・七夕会 ★音楽発表会 ・1学期終業式 ・年長わくわくデー ・夏休み 	1月	・冬休み ・3学期始業式 ★作品展 
8月	・夏休み ・夏季登園日 	2月	・豆まき ★ひなまつり発表会 
9月	・2学期始業式 ・お月見会 	3月	★卒園式 ★修了式 ・春休み 

★印は、保護者参加

・印は、園児のみ参加

- ・誕生会、身体測定、避難訓練は、毎月行います。
- ・原則として、園庭駐車はできませんが、行事によって園庭に駐車可能な場合があります。
- ・遠方の方優先で駐車券を発行しています。

令和7年度 新入園児募集要項

1. 出願資格及び募集人員

区 分	資 格	募集人員
満 3 歳児（たんぽぽ組）	令和 4 年 4 月 2 日～令和 5 年 4 月 1 日生まれ	10 名
3 歳児（年少・桃組）	令和 3 年 4 月 2 日～令和 4 年 4 月 1 日生まれ	20 名
4 歳児（年中・赤組）	令和 2 年 4 月 2 日～令和 3 年 4 月 1 日生まれ	10 名
5 歳児（年長・青組）	平成 31 年 4 月 2 日～令和 2 年 4 月 1 日生まれ	転入園児 （若干名）

2. 入園願書配布及び受付・面接・納入金について

◎入園願書・ご案内配布 《令和 6 年 10 月 1 日（火）より》

平日 9:00～17:00（土日祭日は休み）



◎入園説明会 《令和 6 年 10 月 9 日（水）》

○幼稚園の教育方針・保育内容について説明いたします。

＜受付＞ 13:30～ ＜開始＞ 14:00～15:00

【持参するもの】入園のご案内・幼稚園プロフィール（夢心愛）・室内履き（親子共）・マスク



◎入園願書受付 《令和 6 年 11 月 1 日（金）より》

平日 9:00～17:00（土日祭日は休み）

【持参するもの】入園願書・入園料

※入園料の返金は一切出来ませんので、その旨ご了承ください。

※駐車場はありませんので、できるだけ徒歩や自転車でお越しください。

入園願書記入について

- ・黒のボールペンで丁寧に記入し、地図は目標物をはっきりと書いてください。
- ・氏名は戸籍通りの字で記入し、押印、写真添付を忘れない様にしてください。
- ・お子様の発達、療育等に関してご相談がある場合は、必ず入園前にお知らせください。



◎新入園児面接・制服採寸・保育用品の注文《令和 6 年 12 月 20 日（金）》

※面接時間は、入園受付時に面接票に書いてお渡しします。お子様と一緒にお願いします。

【持参するもの】面接票・入園誓約証書・銀行口座振替申込書・室内履き（親子共）・マスク
施設設備費・諸経費（年額）

傷害総合保険料（24時間） ※面接終了後、制服採寸・保育用品の注文を受けます。



◎制服・学用品のお渡し 《令和 7 年 3 月 12 日（水）》

※注文された制服類、学用品をお渡しいたします。

＜受付＞ 13:30～ ＜開始＞ 14:00～15:00

【持参するもの】保育用品等を入れる大きくて丈夫な袋・室内履き（親子共）・マスク

制服・保育用品代

※お1人ずつ注文数によって金額が違います。面接後に金額をお知らせいたします。

5. 幼児教育無償化について 【入園が決定したら、幼児教育無償化申請をいたします。】

- ◎保育料補助 : 月額 25,700 円を上限として給付（3 歳以上）
第2子以降の満3歳児は、【**プレ幼稚園第2子以降無償化**】制度で給付
第1子の満3歳児は、誕生日前日より給付
- ◎預かり保育補助 : 保育の必要性があると認定を受けた場合、利用実態に応じて給付（3 歳以上）
（保護者が就労等） 第2子以降の満3歳児は、【**多子世帯給付認定**】制度で誕生日前日より給付
第1子の満3歳児は、非課税の方のみ誕生日前日より給付
- ◎副食費補助 : 市より認定を受けた方に給付

※預かり保育補助、副食費補助は、3ヶ月ごとに給付支払
市への手続きに時間を要しますので、早めに入園手続き及び申請書提出をお願いします。



通園バスについて



通園バスを運行するに当たりましては、お子様の安全を第1に考え、乗降時の確認なども含め、万全の方法で送迎させていただきます。通園バスをご利用されます保護者の皆様のご理解とご協力が必要ですので、下記の内容をご確認ください。

- 通園バスを希望される方は、願書提出前に幼稚園にご相談ください。
- 子どもの乗車時間短縮と、朝の遊び時間の確保のためにも遠方には行けません。
- 安全第一を考えて、狭い道への通行は避けています。また乗降場所は安全な所を選びますので、場合によっては大きな道まで出てきていただくこともあります。
- 幼稚園行事、気象状況などで、運行経路や乗降場所及び時間変更、状況によっては運休する場合があります。

幼稚園バスの運行範囲です。年度によって若干の違いがありますので、ご不明な点にご相談ください。

